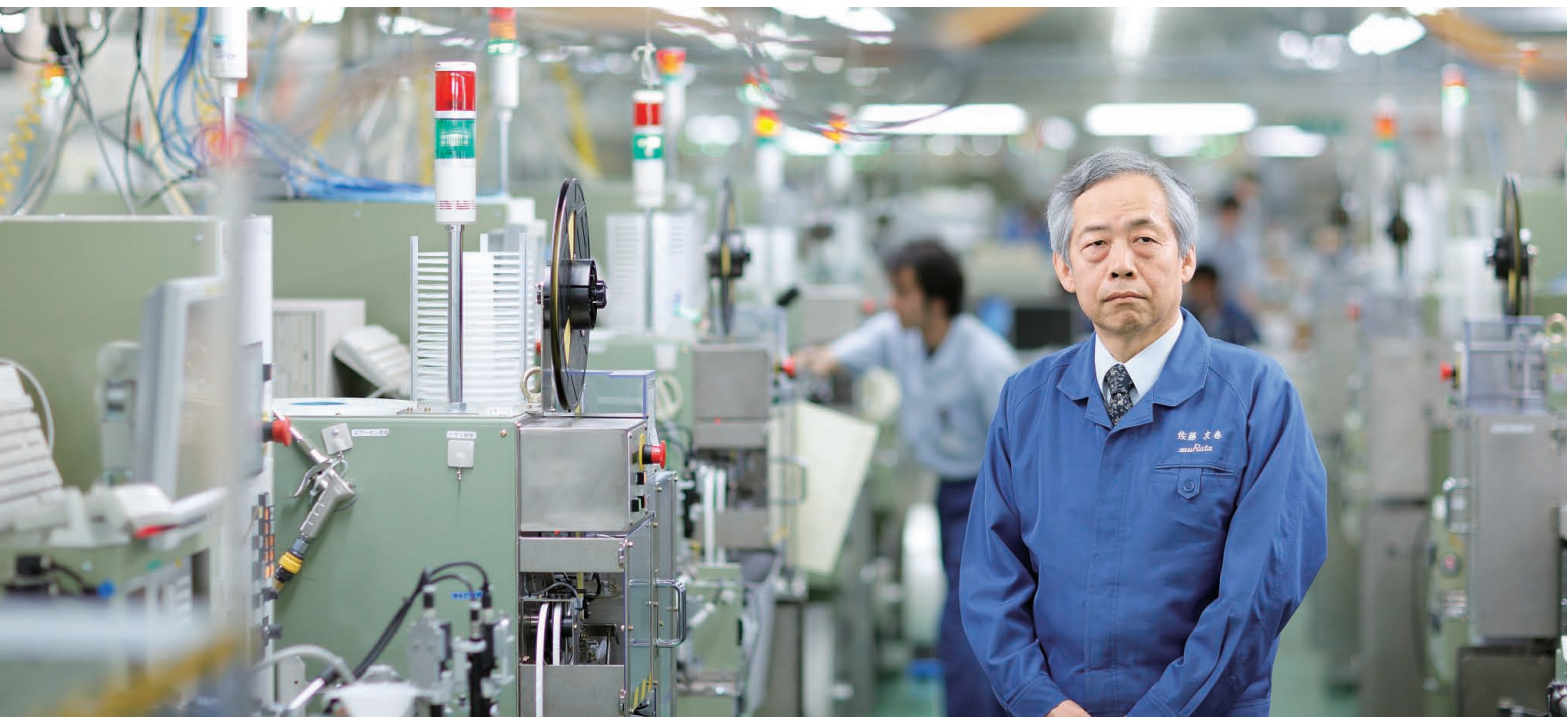


- コーポレート・ガバナンス体制の強化
- 内部統制システムの整備
- 企業倫理規範・行動指針
- コンプライアンスの推進
- 全社的なリスクについての取り組み
- リスクマネジメント

〔リスクマネジメント〕

万が一の事故や災害。まず第一に守るべきは人命です。
その次に大切なのは、「事業の継続性」です。



事業継続は、社会的責任を果たすこと、 その意志を伝えるメッセージ。

株式会社登米村田製作所
取締役 工場長
佐藤 友春

登米村田製作所の地震対策。
事前の対策が被害の低減に。

2011年3月11日に発生した東日本大震災で、最大震度7を計測した宮城県栗原市に隣接する登米市に登米村田製作所があります。登米市では最大震度6強を計測し、現地の工場も操業を停止しました。

ムラタでは、1995年の阪神淡路大震災と2007年の能登半島地震の経験をふまえ、震度6強を想定した社内での耐震基準を設定し、2007年に国内全拠点の建物・施設に、耐震対策工事を実施しました。今回の地震では、登米村田製作所の建物・施設への深刻なダメージはなく、生産活動に不可欠なユーティリティ設備や配管・配線類への被害を最小限に抑えることができました。

また、生産設備についても、社内の耐震基準による耐震固定をしており、大きな損傷から逃れることができました。さらに、地震から従業員の生命身体を守るため、2008年に地震速報システムを導入

し、同システムを活用した定期的な訓練を実施していました。

地震発生当日、同システムが作動し、揺れの始まる5秒前に警告を館内放送できたため、従業員は冷静に避難行動をとることができました。

震災後、ライフラインの寸断などの困難を極める中、協力工事業者のみならず現地の従業員・本社からの支援スタッフが丸くなって復旧活動を行い、3月下旬から生産活動を一部再開することができました。また、本社から緊急支援物資として現地に輸送した物資は、登米市から地元の方々に提供していただきました。

ムラタでは大地震を想定した諸施策を従来から実施してきましたが、今回の震災の教訓を踏まえ、今後も事業の継続をより強固にする対策を実施していきます。